

●今月の法語カレンダー●
ほんとうの自分に
出会えない人生は むなし
鷲澤 顯昇

仏教にも心理学のようなものがあります。「唯識」といいます。日本に「心」という言葉や考え方が入ってきたのは、仏教、とりわけ唯識仏教によつてだといわれています。では私たちの心の奥底をのぞいてみると・・・むさぼりやいかり、疑いなどが渦巻いています。しかし自分中心の殻の中では「ほんとうの自分」は見えてきません。仏法を聴くことから気づかされ、そこから懺悔や感謝の思いが生まれてくるのです。「ありがたい」と生きられる人生にしたいものです。

8月の行事

- 朝の日曜礼拝
毎週日曜朝7時
- お盆 13日～16日
合同法要 16日(水)
- 【新盆法要】
午前10時半～12時
- 【孟蘭盆会法要】
午後1時半～3時半
- 【講師】
北畠 晃融 師
(京都 中央仏教学院長)

●お経サークル

- 26日(土) 午後3時
- 終了後「納涼会」があります。どうぞご参加下さい!
- 婦人の集い お休み
- 写経会 お休み
- ヨーガ教室 お休み
- 9月の行事
- 秋季彼岸法要 23日(土)
- 婦人の集い 11日(月)
- お経サークル 16日(土)
- ヨーガ 13/27日(水)

孟蘭盆会法要のご案内

暑中お見舞い申し上げます。
天真寺門信徒の方々におかれましては、慈光のもと、お健やかに念仏相続のこととお慶び申し上げます。
さて、本年度の天真寺「孟蘭盆会法要」を左記の通り厳修致します。なお、同封の「法名簿」は、ご記入の上当寺宛にご送付下さるか、当日ご参詣の折ご提出下さいませようお願い申し上げます。皆様のご参詣をお待ちしております。

記

【日時】 平成18年8月16日(水)

「新盆法要」(亡くなって初めてのお盆を迎える方)

午前10時半～12時(受付10時)

(ビデオ上映) 12時半～(本堂)

『仏典物語 マハーカッサパくお経のはじまり』

「孟蘭盆会法要」(一般の方)

午後1時半～3時半(受付1時)

【講師】 本願寺 中央仏教学院(京都)

院長 北畠 晃融 師

□ご提出下さいました「法名簿」は、一年間尊前にお供えし、
明年お返し致します。(昨年度の法名簿を同封しております。)

□ご都合のつく方は、どちらのご法要にもご参詣下さい。

50歳からの
真宗教室

「新たな灯火」

森田真円 師

2007年問題、よく耳にする言葉であります。団塊の世代が一斉退職するに伴い発生すると予想される問題であります。

このことについて、団塊の世代の将来への期待や不安は、あちこちで論じられています。しかしながら、団塊の世代の「今」については、十分に語られているとは思えません。長い間、働きに働いてきて、多くの人々は、それぞれの幸せを手に入れたに違いありません。その幸せの中味を見てみると、「仕事」であったり、「子ども」であったり、「親」であったり、「仲間」であったりと充実していました。

しかし、「今」その一つ一つが離れていきます。仕事は定年を迎え、子どもは独立をし、伴侶は別の世界を持ち、仲間も限定されていきます。幸せと思っていた中味が、一つ一つ離れていく。「今」、自分には何が残るのか、色々なものを達成したはずなのに、本当に依りどころとなるものがあるのだろうかと思いついた時、何ともしえない虚脱感を感じるのでないでしょうか。期待であろうと不安であろうと、これから先のことを考える前に、しばらくじっと立ち止まって、じっくり考えることが必要なように思えてなりません。これは何も、団塊の世代に限ったことではないでしょう。人生の後半を迎えた時に、幸せとは一体何かと改めて考えないわけにはいきません。

最近読んだ、筑波大学名誉教授の今井雅晴先生の本に、

「最近はやりの自分探しは駄目である。自分探しはやめよう」
という一段があり、啓発されました。「自分の中に自分の進むべき方向を見出す」という考えは自分中心に過ぎるというものです。
自分の外の、自分とは価値観の違うものを学ぶことが大切であると述べておられます。自分のしてきたことに執われ、自分の中を探して何かいいことはないかと見るよりも、価値観が違う自分の外の目線から見ないと何も生まれないということでしょう。

浄土真宗は聴聞に極まるといわれます。自分を超えた、自分の外からはたらかかけている仏の願いを聞くことが最も大切であるという意味です。人間の価値観を超えた仏の願いとはどのようなものかを聞くことができれば、幸せの中味がな

人生の新たな灯火が恵まれるのではないのでしょうか。

『本願寺新報』8月1日号

C H E C K !!

一おすすめお寺サイト一

☆善巧寺情報発信処

<http://www.zengyou.net/>

☆彼岸寺

<http://www.higan.net>

☆浄土真宗やっとかめ通信

<http://www2.big.or.jp/~yba/>



☆天真寺

<http://www.tenshin.or.jp/>
「寺日記」「アルバム」等

鳥根県「浄圓寺」 報恩講勤修の「ご報告」

前住職の念願でありました。鳥根県美郷町の浄圓寺吸収合併の認可が文化庁より下り、一つの宗教法人として鳥根県の浄圓寺は天真寺の分院となりました。毎年、夏に鳥根県で報恩講を勤めておりますが、今年も吸収合併の法要もあり、7月17日に勤めて参りました。

朝一番の飛行機で広島へ飛び、そこからレンタカーで鳥根へひた走ります。ちょうど梅雨の末期で集中豪雨の真っ直中を2時間半余りで浄圓寺へ到着。

いつも浄圓寺では門信徒の手により境内の草刈りから本堂・庫裏・墓の清掃等々；法要の準備まで全て整えて待っていて下さる。私たちは万全に準備された浄圓寺で法要を勤めるだけである。本当に有り難く、勿

体ないことでもあります。

浄圓寺のある鳥根県石見地方は昔は石見銀山で栄え賑やかだったようですが、現在は過疎化により浄圓寺の地区の戸数も全部で十三戸になってしまいました。毎年門信徒の手により報恩講が勤められており、当日も昼を過ぎた頃より全戸数十三戸の全員がお参り下さった。いよいよ午後1時から「報恩講」「門信徒総追悼法要」そして今年だけ特別な「合併法要」を勤めさせていた。



《法要表白》

：「願みれば当山は浄圓寺は、一七二五年（正徳五年）智伝と志君の門信徒によって建立されました

それから二九一年の星霜を経るなか浄圓寺は代々の門信徒の手により護寺され、ご法義を相続して参りました

また次の機会を作ってほしい」などのご意見もいただき、うれしく思いました。

当日のお手伝いは無理だけれど：と多くの方々より、布の寄付もいただきました。たくさんの方々の思いに支えられ、初めての「ボランティア！」お寺でボランティア「く」を無事終えることができましたし、活動にご理解、ご協力下さった方々のお陰と本当に感謝しております。心よりお礼申し上げます。

当日の様子
子は、宗門の新聞『本願寺新報』に取材いただきましたので、その記事の掲載も楽しみにす。



またの機会がありましたら、ぜひご参加下さいませ。皆様ありがとうございます。

が、時代の流れの中に志君浄圓寺と松戸天真寺が合併し新たな「法義相続の場」として出発することとなりました。

（二部抜粋）

法要が終わると、お説教です。浄圓寺には昔ながらの高座があり、総代さんによるともう五十年近く使っていないとのこと、せっかくだからと高座の上でお説教をと、同行していた柏・西方寺住職（弟）が昔のように高座の上に座り「法話。（天真寺でも高座でお説教を頂きたいなア：実感したことである）いつの間にか雨も上がり、仏法を聞かせていただいた。

法話が終わり茶話会となり、ウグイスがホクホケキョ（法を聞けよ！）とさえずる中、お説教を聞かしていただいていた難かつた私が話すと、「鳥はいつも鳴いていますよ」との答えに自然に抱かれた田舎ならではの風景と感激した。また、あるご門徒さんがこんな事

最後に「若い難民を考える会」より、ご報告をいただきましたので、ここにお知らせ致します。

- 布チョッキン募金 24,000円
（人形作成一体につき1,000円かかります）
- 手作り絹織物販売 31,200円
- 10円給食募金 4,774円
- 天真寺寄付 20,000円
- 合計79,974円のご寄付と販売収入になりました。

お願い

★門信徒会・婦人会役員の皆様には、8月16日お盆合同法要日、午前9時半までにお集まり下さいますようお願い申し上げます。朝早くから恐縮ですが、法要のお手伝いをお願い致します。

を言われていた。「お寺があり、御院家さんの教化活動が染み入っている所は、「おかげさま」という事が当たり前のように理解されているが、お寺もなく御院家さんも居ないと「おかげさま」という事が理解されてない。お寺があると言うことは大切なことだ！」（そうだなアと実感したことである）。



夜は浄圓寺総代さんと懇親会があり、平成27年に浄圓寺開基300年を迎える。屋根の瓦が傷んでいるがどうしたものか、今後のことや色々な話をしながら懇親を深め、翌日出雲空港より帰途にいたが、さすが浄土真宗のみ教えが染みついた先祖からの土徳を感じた時間でありました。（住職）

★「天真寺大谷本廟墓所」並びに「大谷本廟永代合葬墓完成記念参拝と親鸞聖人御旧跡巡拝」のご案内を同封しております。

京都・大谷本廟に昨夏ご門徒さんのための永代合葬墓が完成致しました。ご納骨をお考えの方は、お寺までご相談下さい。



また、10月の京都参拝旅行は、永代合葬墓完成を記念して親鸞聖人誕生の地・お徳度の地など旧跡を皆さんと楽しく、ゆつたりしたコースで巡る予定です。どうぞお誘いあわせの上、ご参加下さい。申込〆切は9月23日秋季彼岸法要日です。

★新盆法要のご案内は、お葬儀のご縁のあった方にお送りしております。ご案内の届かない方でご参拝下さる場合、法要中法名の読み上げを致しますので、お寺に直接ご連絡下さい。

THANK YOU 「布チョッキン」 ご報告 ご協力ありがとうございました

先月10日、婦人部主催でカンボジアの子どもたちへ遊具を送る活動「みんな布チョッキン」ボランティアを行いました。

当日はご門徒さんに限らず、地域の方々がたくさんご参加下さり、有り難いご縁となりました。

型紙に合わせて布を切るだけの簡単な作業と思いましたが：大人数ですると、思っていたよりバタバタとなっていました。

しかし、そこは初回ということで大目に見ていただいて、皆さんとにぎやかに作業ができました。

終了後には、「この活動を日本の子どもたちにやってみようか」「今回でやり方を覚えたから、ぜひ